

地域・社会とともに

野村不動産グループでは、企業市民としての責任を果たし、より良い地域・社会づくりに貢献したいと考えています。
また、事業を通じて地域の持続・発展に貢献したいという想いのもと、子どもたちの教育支援などの活動を積極的に行っています。

東日本大震災における取り組み

東日本大震災被災地への復興支援

野村不動産グループでは、東日本大震災で被災された方々の救護や被災地の復興に役立てていただくため、社会福祉法人中央共同募金会を通じて、5,000万円の義援金を寄付しました。

なお、野村不動産では、ボランティア休暇制度を設置し、震災の被災地において社員自らが社会貢献活動に取り組むことを応援しています。

被災者への優先雇用を実施

野村リビングサポートでは、東日本大震災により被災された方々の支援を目的として、優先的に首都圏の住み込みの住みいるサポーター(管理員)の募集を行い、2物件で採用しました。

東芝ビル夏祭りにおける復興支援活動

NREG東芝不動産では、「東芝ビルディング」において、毎年8月に「東芝ビル夏祭り」をテナントで構成される商店会と共同で開催しています。2011年は、さまざまなアーティストのライブや抽選



約3,300人が来場した「東芝ビル夏祭り」

会に加え、東日本大震災の復興支援として、被災地の特産品の販売と募金活動を実施しました。約3,300人の皆さまにご来場いただき、集まった募金は、日本赤十字社を通じて全額寄付しました。

地域・社会との共生

「横浜ビジネスパーク」における地域貢献活動

「横浜ビジネスパーク(YBP)」では、地域に密着したビルの運営・管理を目指し、地域住民の皆さまとのコミュニケーションの促進、地域の活性化と安心・安全な街づくりの支援を目的として、さまざまな取り組みを行っています。

「横浜ビジネスパーク 楽園夏まつり」や「ホテルがすむ街づくり展」などのイベントの開催をはじめ、地元の小学校・保育園などの防犯・防災支援や教育支援にも注力しており、これらの活動を通して、地元の子どもたちとの交流や、安心・安全な街づくり支援に積極的に取り組んでいます。

「横浜ビジネスパーク」における地域住民との交流活動

- 帷子小学校・保土ヶ谷小学校提携による「ビオトープ観察会」「稲作り教室」の実施
- ▶ 27ページコラムをご覧ください。
- 合歓の木保育園の防災訓練支援
- 保土ヶ谷小学校における「スクールゾーン対策協議会」と「防犯パトロール」への参加
- 保土ヶ谷区の地区安全・交通・危機管理協力会への参加

- 保土ヶ谷養護学校を通じたエコキャップ推進ネットワーク活動
- 横浜市消防操法技術訓練会への参加



「ホテルがすむ街づくり展」では、ホテルを見るために多くの地域住民が訪れます



「横浜ジャズプロムナード」に協賛

「江戸遊学」講座の開催

野村不動産では、「日本橋室町野村ビル」において、2011年4月より「江戸遊学」講座を開催しています。

「江戸遊学」講座は毎月1回開催され、「江戸・歌舞伎・きもの」をキーワードに、歌舞伎や落語など、各界で活躍されている方々を講師として招き、地域の皆さまに現在に受け継がれる江戸の



「江戸遊学」講座を開催

価値観を学び、楽しんでいただくための場となっています。

また、講座終了後には参加者同士が交流する場を設け、地域・社会の皆さまのコミュニケーション促進にも努めています。

「名橋『日本橋』を洗う会」に参加

野村不動産では、「日本橋室町野村ビル」の竣工を機に、「名橋『日本橋』を洗う会」に参加しました。

2011年で41回目を迎えた名橋「日本橋」を洗う会は、毎年7月に開催されて



名橋「日本橋」を洗う会に参加

おり、地元の住民や町会、企業などが参加して日本橋を磨くという恒例行事です。地域社会の一員として、こうした活動にも積極的に参加しています。

社会貢献活動

地域雇用の促進

野村リビングサポートでは、地域経済の活性化を目的として地域雇用に積極的に進めており、2011年8月1日現在、首都圏を除く全国で825名の住みいるサポーター(管理員)を現地で雇用しています。

「倶楽部100®(ワン・ハンドレッド)」サークルの推進

メガロスでは、2001年より「100歳まで元気に健康で!」をコンセプトに、「倶楽部100®」というサークル活動を実施しています。

現在、60歳から80歳を中心に約2,500名の会員が登録し、週2回のトレーニング会や提携する医師の講演会などの活動が行われています。

また、2010年11月に、「倶楽部100®総会」を実施しました。238名の会員が参加し、アンチエイジングの講演や、各店舗の会員とスタッフによる創作ダンスの発表会などが行われました。

今後も、こうした活動を通じて、高齢化社会における健康と心に有益な情報を共有する場を提供し、健康な生活をサポートしていきます。



創作ダンスの発表会

「横浜ビジネスパーク」における教育支援活動

地元小学生が参加する「ビオトープ観察会」「稲作り教室」を実施

「横浜ビジネスパーク(YBP)」では、都市部に住む子どもたちに自然の大切さを学んでもらうことを目的としてビオトープ*を常設し、地元の帷子小学校・保土ヶ谷小学校の4年生児童を対象とする「ビオトープ観察会」を継続的に行っています。

この活動の一環として、2011年9月、「お話」と題する講義と「ビオトープ観察会」を開催しました。

「お話」では、YBPのテナントである(株)パーキンエルマー・ジャパンの協力により、「水の性質」をテーマとした講義と実験を実施。「ビオトープ観察会」では、神奈川県水産技術センターの職員が魚の見分け方などの説明を行い、子どもたちがビオトープ内の池で泳ぐメダカやドジョウの観察を行いました。

また、毎年5月から11月にかけて、地域の農家の方の協力により、「稲作り教室」を開催しています。帷子小学校の5年生児童が参加し、11月の収穫祭は、もちつきでしめくくられます。

* 動植物が生息できる環境条件を備える地域



水溶液の性質によって試薬の色が変わる様子に目を輝かせる小学生



ビオトープでメダカやドジョウを観察する子どもたち



「稲作り教室」で「代かき」に夢中になる子どもたち